

平成 30 年度食物栄養学科自己点検・評価報告書

目 次

頁

自己点検・評価項目およびメンバー	1
<u>I. 教育</u>	1
1. 教育課程	1
1-1.教育課程	
1-2.教職課程	
1-3.社会法人全国栄養士養成施設協会栄養士実力認定試験	
1-4.教育課程懇談会	
2. 校外実習・教育実習	4
2-1.校外実習	
2-2.教育実習	
<u>II. 学生支援</u>	6
1. 学生指導	6
2. 進路指導（就職・進学）	7
3. 卒業時アンケート	9
<u>III. 地域貢献</u>	10
1. 研究・社会的活動・所属関連団体研修	10
2. 管理栄養士国家試験準備講習会	22
3. 公開特別講演会	22
4. 公開講座	23
<u>IV. 入学者確保</u>	24
1. 学生募集・入学試験	24
2. 入試広報	25
<u>V. マネジメント体制</u>	28
1. 自己点検	28
2. FD/SD活動	28
3. 資源の有効利用	28

自己点検・評価項目およびメンバー

自己点検・評価項目	メンバー
I. 教育	竹内 弘幸 田淵 英一 深井 康子
II. 学生支援	堀田 裕史 稗苗 智恵子 樋口 康彦
III. 地域貢献	山岸 博美 高木 尚紘 大森 聡
IV. 入学者確保	角田 香澄 中根 一恵 藤田恭輔
V. マネジメント体制	宮田 佳奈 吉沢 美樹 岡野 文香

I. 教育

1. 教育課程

1-1. 教育課程

(1)実績

①教育課程表

平成 30 年度食物栄養学科の教育課程は、前年度と比べ、学則改正はなく担当教員のみの変更となっている。

②資格取得数

平成 30 年度卒業生 84 名（前年度と比較して 3 名増）の資格取得数は、栄養士 83 名（2 名増）、栄養教諭二種免許 9 名（1 名減）、フードスペシャリスト 17 名（8 名減）、専門フードスペシャリスト（食品開発）1 名（1 名増）、社会福祉主事任用資格 84 名（3 名増）で、NR・サプリメントアドバイザーはいなかった。

③学位授与方針、教育課程編成・実施の方針

平成 30 年度も継続して、学位授与方針と教育課程編成・実施の方針を再吟味した。

④時間割編成ネック解消

専攻科学生 PC への期間限定での栄養計算ソフトをインストールで、平成 28 年度に開始した専攻科の F306 使用廃止を継続し、時間割編成が可能となった。ただしソフトインストールが煩雑であり、維持管理が必要である。

⑤給食管理校外実習について

平成 27 年 9 月の厚生労働省東海北陸厚生局の实地視察で給食管理校外実習資料不十分との指摘に対し、平成 30 年度も前年度に続き給食管理校外実習の実習課題を学内で 10 時間実施し、学内実習課題指導証明書を作成して対応した。

(2)課題

①給食管理校外実習について

平成 27 年 9 月の厚生労働省東海北陸厚生局の实地視察で課題の学内指導であるが、これ

を永続的に行うには、前期試験成績採点期間という繁忙期に重なり負担が大きいという問題がある。

②時間割過密状態について

食物栄養学科は、実験・実習が多いこと、取得すべき単位数も多いことなどから、時間割が過密である。特に1年後期、2年前期の時間割が過密であり、またF館コンピュータ演習室使用授業が多く時間割を難しくしている。

1・2.教職課程

(1)教員組織と実績

教職課程の教員組織全体としては、専任教員設置の分野に専任教員数を充足するなど専任教員数は基本的には安定している。一方「教育原理」「教職課程総論」はじめ計5科目を非常勤講師にお願いしている状況に変化はない。

①免許取得学生数

平成30年度教員免許取得数は9人で、ここ数年10～15名で推移している。10名未満では受入先等の問題の発生は少ないが、学生同士による切磋琢磨による活性化という点からはこの人数程度かそれより少し多くてもよいと思われる。

②平成26年度文部科学省視察への対応継続

平成26年12月10日の文部科学省の教員免許課程実地視察での授業科目「栄養教育実習指導」への指摘事項「事後指導の記述が見当たらない」に対応して、当該科目に事後指導として栄養教育実習報告会の準備指導・発表を実施し以後継続する。

③平成31年度教職課程再認定認可

平成31年度からは教職課程が一新されるため、名古屋大学での相談会1回と文科省での相談会2回に出席し、平成30年3月23日再認定の申請を行った。再課程認定は難航を極め平成31年1月8日ようやく見通しがたった。従来の『教育課程総論』を廃止し「教育課程、道徳・総合的な学習の時間・特別活動指導、及び教育方法」を追加し、『特別支援教育概論』を新設、退職専任教員に対し差し替えを行った。認可書類は平成31年1月15日付けで2月18日日本学に文科省から郵送で届いた。

平成31年度教職課程の教職関係相単位数は16単位で、新設科目があるにもかかわらず旧課程と同一単位数となっており、非常にコンパクトに抑えたものとなっている。

④平成30年度末退職者に関する対策

平成30年度末退職者が出るため、平成31年度新規採用で専任教員を補充する予定である。これにともない担当授業科目の調整も行われ、非常勤に依頼する科目が増加した。同じ理由で平成31年度以降の教職課程認定に必要な専任教員が不足するため、専任教員がオムニバスで参加することで対応した。

(2)課題

①平成31年度教職課程再認定への適切な対応

申請認可の関係で、平成31年度は一時的に非常勤が多くなり、難しい運用が必要となる場面も出ると予想される。平成31年度の教職課程運用にあたっては、慎重な対応が求められる。また、平成32年度以降の教員組織の検討も必要となろう。

1-3. 社団法人全国栄養士養成施設協会栄養士実力認定試験

(1)実績

本学は、社団法人全国栄養士養成施設協会による栄養士実力試験を導入初年度の平成 16 年度より実施しており、平成 30 年度で 15 回目となる。

この試験は、全国の栄養士の資質向上と均一化を図り、栄養士養成施設の教育に関する認識の連携と強化を目的に実施している。今年度は栄養士としての総合力を問う応用問題が 5 問追加となり全体で 85 問、試験時間は従来同様 120 分で行われた。判定基準は、A（栄養士として必要な知識・技能に優れ絶対的信頼が置けると認められた者）、B（栄養士としてほぼ十分な知識・技能を取得しているが、なおいっそうの資質の向上を期待される者）、C（栄養士としての知識・技能が不十分でさらに研鑽を必要とする者）の 3 ランクに分けられる。

試験結果の平均をみると短期大学が 45.7 点に対し、本学は 50.1 点で他の短期大学の平均より 4.4 点高かった。四年制大学（3 年次に受験）、管理栄養士養成校を含めた全国平均には及ばないものの、本学は短期大学においては全国的にみても栄養士実力試験での実力を発揮している。

栄養士実力認定試験の受験人数・試験結果の推移

回数		12 回	13 回	14 回	15 回
年度		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
受験人数（人）	全国 ¹⁾	10349	10350	10329	9884
	短期大学	4514	4501	4465	3927
	本学	78	102	81	78
試験結果の平均（点）	全国	43.2/80	43.9/80	42.5/85	50.2/85
	短期大学	38.8/80	40.2/80	38.2/85	45.7/85
	本学	41.4/80	42.7/80	43.0/85	50.1/85

¹⁾全国：四年制大学（3 年次受験、管理栄養士、栄養士養成）、短期大学、専門学校など

(2)課題

- ①来年度は、その重要性にかんがみ、選択科目から必修科目へと変更する。A ランク者の割合がさらに多くなるように、また C ランク者ゼロを目指して学生に対して実力認定試験受験への意識をより高めていく必要がある。
- ②今年度も応用問題が追加されているが、従来の試験対策で行っていたトミタン模擬試験にも追加問題を作成して総合力を高める対策を図るなど、本学の学生が実力認定試験を通して平均点の向上とともに真の実力を習得できるよう、栄養士総合演習の在り方の検討が必要である。

1-4. 教育課程懇談会

(1)実績

実施日：平成 31 年 2 月 4 日(月)14：00～15：00

場 所：食物栄養学科 F302 教室

参加者：食物栄養学科 教職員 15 名 非常勤講師 3 名

進 行：樋口

配布資料：レジュメ、教育課程(H30・29 学科・栄養教諭)、時間割(H30 前・後期)、学科概要

議論したテーマ：①初年次教育について、②カリキュラムの見直しについて

(2)課題

カリキュラムに関しては課題があり、今後の方向性を確定していく必要がある。

2. 校外実習・教育実習

2-1.校外実習

(1) 実績

- ①平成 30 年度は 2 年生が 8 月から 9 月に 2 単位の給食管理校外実習を行った。その内、実習先は病院 27 カ所、福祉施設 24 カ所、学校 12 カ所（兼務校含む）である。なお、学校実習は 1 単位とし、栄養教諭二種免許を取得する学生を対象としている。不足の 1 単位取得するために病院実習および福祉施設実習のいずれかで行った。
- ②本学科で作成している「校外実習を履修するにあたっての留意事項」に該当し、実習を受けることに問題となる学生は、平成 30 年度においてはいなかった。
- ③抗体価検査は 1 年入学時に実施しており、風疹、水痘帯状ヘルペス、麻しん、流行性耳下腺炎の検査結果が陰性もしくは低い値であれば、できるだけ早い時期に接種するよう指導を行った。
- ④実習施設によっては患者および職員の個人情報の保護に関する誓約書を必要とする施設が今年度も増えた。
- ⑤実習報告会に向けて全学生がレポートを提出したのでまとめて冊子を作成し、学生、教員へ配布を行った。

(2)課題

- ①今年度、目立ったトラブルはなかった。しかし、すべての学生が校外実習に積極的であるというわけではなかった。ここ数年、積極性について疑問視される旨を評価表に書かれる学生が増えているように感じている。校外実習中の SNS の取り扱いに関して注意喚起を今後も継続していく必要がある。

2-2.栄養教育実習

(1)実績

- 1) 30 年度は 9 名が実習を行った。
- 2) 栄養教育実習期間は、9 月 3 日～21 日のうち 5 日間行った。
- 3) 実習校は別表のとおり、7 校で実施した。
- 4) 実習は小学校 7 校、中学校 1 校で行い、1 校あたり 1 名～2 名の配属であった。
- 5) 富山市及び高岡市教育委員会へは、担当者が教育委員会に出向き担当者に依頼し、その

他の教育委員会は事前に電話にて了解を得て、直接学校に依頼して決定した。

- 6) 実習は給食管理と教育実習の2週間を連続して同一校で実習することを原則としている。しかし、立山町においては給食管理実習を給食センターで実施した。
- 7) 栄養教諭履修費として、15,000円を昨年同様に集金した。
- 8) 実習校への挨拶は、担当者や学生が事前に訪問し、要望や留意点を伺い実習に備えた。また、実習期間中は、本学教員が学生の実践授業を参観した。
- 9) 大学祭時には、実習で使用した資料や実習内容をまとめて展示した。
- 10) 実習発表会は、11月27日(火)に開催した。1年生にとっては発表を聞くことにより、指導案の作成や実習に向けて準備しておくことが分かり、有意義な発表会であったと思われる。また、後輩から先輩への実習に係る質疑応答も実施した。

(2)課題

- 1) 一般教員や養護教諭、他県の栄養教諭の教育実習生は、実習前年度に実習校と交渉を済ませている。本学は、実習当年度に入ってから依頼しているため、スムーズな受け入れ承諾を得るためにも、1年生の成績が確定したら早急に教育実習委員会を行い、4月上旬までに市町村教員委員会や実習校に依頼を行う。(本学のシステムからは、前年度から依頼することは困難であるが、少しでも早い時期にアポイントメントを取る手立ては必要であろう。)
- 2) 栄養教育実習は1週間と短いため、少しでも学校組織や児童の実態を理解することが、栄養教育実習をより効果的に実施できると考えているため、本学では原則給食管理実習と栄養教育実習を同じ学校で実施できるよう実習校に依頼している。しかし、給食管理実習(栄養士免許取得目的)と栄養教育実習(栄養教諭免許取得目的)の意味や違いを理解していない学生もいるため、実習前に周知しておく必要がある。
- 3) 2)の意義を踏まえつつ、次年度も市町村教育委員会には、この趣旨をご理解いただくよう働きかけていく。
- 4) 学生から実習時の心構えについて不安の声が多かったため、言葉遣い、挨拶の徹底、発声、聴講時の留意点等を指導した。
- 5) 栄養教育実習指導の授業では実習の目的及び心構え等について指導し、教育実習での研究授業を想定した模擬授業を行い、教員としての自覚や意欲につなげるようにしているが、授業時間数の確保が難しいため、1年生から教職に係る科目を通して、継続的な指導を行うことが望ましい。
- 6) 1学年と2学年の連携、短大と実習校との連携を充実させることで、より良い実習になるよう努めていく。

平成30年度 栄養教育実習 実習校一覧

	実習校	栄養教育実習期間	実習生数 (名)
富山市	山室中部小学校	平成29年9月10日(月)～14日(金)	2
富山市	鶯坂小学校	平成29年9月10日(月)～14日(金)	1

高岡市	下関小学校	平成 29 年 9 月 10 日（月）～14 日（金）	1
氷見市	氷見北部中学校	平成 29 年 9 月 14 日（金）～21 日（金）	1
射水市	小杉小学校	平成 29 年 9 月 10 日（月）～14 日（金）	2
立山町	立山中央小学校	平成 29 年 9 月 3 日（月）～ 7 日（金）	1
入善町	入善小学校	平成 29 年 9 月 10 日（月）～14 日（金）	1
		計	9

II. 学生支援

1 学生指導

(1)実績

1) 休学・退学・復学

平成 30 年度入学生は 2 月末で 4 名の退学者が出た (5%)。一方、平成 29 年度入学生は、休学、退学ともなかった。

2) 学科および学校行事への参加

薬膳料理や地元産業などを実際に味わったり創作体験したりする日帰り研修や、大規模な食品工場や地域特産食品の製造工場などを見学する研修旅行は、食物栄養学科の科目をより深く理解する上で役立っている。これらの行事は栄養士総合演習の一部として実施している。

また、大学祭では、学科企画として、1 年生は「栄養相談」をテーマとしてフードモデルを使用し来校者に実践した。2 年生は、8 月から 9 月にかけて実施した校外実習の成果を報告した。併せて、両学年とも保護者懇談会を実施した。

各行事の実施概要は以下のとおりである。

① 日帰り研修

期日：平成 30 年 5 月 15 日（火）

内容：1 年 富山県（能作、井波木彫りの里、散居村展望、おかき扱御菓蔵）

学生 79 名 教員 4 名 参加

2 年 富山県（島川製飴、源ますずしミュージアム、千里山荘、県立美術館）

学生 84 名 教員 4 名 参加

② 研修旅行

期日：平成 30 年 9 月 12 日（水）～13 日（木）

対象：1 年 79 名、教員 4 名参加

場所：長野方面

1 日目 小布施菓子工場見学、そば打ち体験、美ヶ原温泉

2 日目 安曇野ワイナリー、ブルーベリー狩り、上高地

③ 54 回大学祭

期 日：平成 30 年 10 月 19 日（金）～21 日（日）

④ 保護者懇談会

期 日：平成 30 年 10 月 21 日（日）

対 応：担任（1年担任、2年担任）

内 容：1年生は前半、就職や進路など最も相談したいと思われる内容について全体説明をした後、希望者について個別懇談を行なった。2年生は、進路について具体的な質問が予想されるため、個別懇談のみを行なった。

個別相談では、1・2年生とも、就職や進路について相談が多く、自分の子供が大学の勉学についていけるか心配との相談もあった。

(2)課題

1) 入学して間もなくから学業に専念できない学生がいることを想定して、早期に個別や集団面接を取り入れ、保護者、担任、学生およびカウンセラー等との連携を図り、学生生活の支援や相談を行っていく必要がある。

2) 学生生活・授業内容等の満足度の高さを維持していくために、web シラバスや図書館等を活用し学ぶ姿勢を身に着けることができるように働きかけが必要である。

また、学生のボランティア活動の積極的な参加を促し、コミュニケーション能力を含めて社会貢献ができる社会人を育てる必要がある。

2. 進路指導（就職・進学）

(1)実績

①進路状況

卒業生 84 名の進路状況は、就職 74 名（88.1%）と昨年より 9.4%減、大学 3 年次編入学 6 名（7.1%）昨年より 5.9%増、その他・家事等 4 名（4.8%）昨年より 3.6%増であった。就職を希望した学生の内訳は、専門職の栄養士 56 名（75.7%）、栄養士に準ずるは 8 名（10.8%）、一般事務、販売等 10 名（13.5%）であった。栄養士、栄養士に準ずる業務の専門職の状況は例年よりも減少し、一般職、編入学が増加傾向となった。また、栄養士職の主な内訳は、医療機関 5 名（6.8%）5 %減、福祉施設 19 名（25.7%）3.6%増、保育所等 11 名（14.9%）1.3%減、委託給食会社・事業所 20 名（27.0%）18.6%減であった。

②就職先へのお礼

平成 30 年 7 月に、食物栄養学科専任教員で平成 30 年 3 月に卒業した学生の就職先（52 ヶ所）へ就職定着のための巡回と次年度の求人依頼を行った。

③模擬面接について

ビジネススキル演習の時間に、就職活動に必要な自己分析、ハローワークによる模擬面接指導を行った。また、「先輩と語る会」を 7 月 25 日（水）に実施し、以下の 2 名の先輩から「就職活動の実際と心構え」についてアドバイスを貰い、就職に対する学生の意識の高揚に努めた。

明祥株式会社 栄養士（平成 28 年 3 月卒業）

専攻科 1 年生 東洋食品(株)（学校給食）で 2 年間栄養士実務（平成 28 年 3 月卒業）

④給食会社説明会実施

進路決定の一助として 5 月 12 日（土）に委託給食会社 4 社（日清医療食品会社(株)、日本海給食(株)、(株)メフォスおよび富士産業(株)）の説明会を本学で開催した。ほぼ初めての専門職の求人に対し、学生は真剣に説明を聞き、意欲的な就職活動に繋げることができた。

⑤ 求人情報収集および求人開拓

平成 30 年度卒業生の就職に向けての求人情報収集と求人開拓のために、県内外の専門職関係機関などへの依頼を実施した。依頼状、求人票、学科概要、平成 29 年度卒業生の進路状況、カレッジガイドなど 421 通を送付した。

⑥進路ガイダンス

就職支援センターと協議しながら、1 年生への進路ガイダンスは以下のように取り組んだ。

- a)進路ガイダンスⅠ・・・平成 30 年 12 月 5 日(水)に学科長や支援センター長から就職についての取り組み方を、また、内定を貰った在学生 3 名(委託給食、直営、一般職)から自分の体験を振り返り、1 年生へアドバイスの時間を設けた。専攻科長から専攻科についても説明いただいた。
- b)進路ガイダンスⅡ・・・平成 31 年 2 月 5 日(火) 13:30 から開始した。就職支援センター長より挨拶の仕方を学び、就職活動に対する心構えや実際の進め方、履歴書作成について説明いただいた。
- c)進路ガイダンスⅢ・・・平成 31 年 2 月 18 日(月) 10:50 から面接の方法や質問事項のポイントのDVDを視聴する傍ら、履歴書用写真撮影を行った。また、再度履歴書を書く時間を設け、担任に提出した。
- d)その他・・・・・・・・・・富山県社会保険労務士会の方をお招きし、ワークルールの基礎講座を実施した。求人票の見方について演習を交えた内容、そのほかにも労働に関する様々な情報を伝えてくださり、就職活動を行う学生にとって良い学びとなった。

⑦教養科目対策講座

公務員試験を念頭においた教養科目を基本とする講座を平成 31 年 3 月 18 日(月)～27 日(水)の 7 日間、受講者負担で開催した。本講座は、受講者 32 名のうち、食物栄養学科からは受講者がいなかった。昨年度の受講者数 4 名(5.6%)より減少した。

⑧栄養士専門職関係の求人は本学求人票のほかハローワークやインターネット等により行っており、2 年担任は進路を具体的に把握するため個別面接や指導を行っている。また、必要に応じ、支援センターと連絡を取りながら学生への対応に力を注いだ。

⑨保護者懇談会は 10 月 22 日(日)の大学祭期間中に行われ、1 年は全体会 30 組(昨年 23 組)、2 年 12 組(昨年 28 組)の参加があり、就職や進学などの質問について個別相談を実施した。

⑩進学

四年制大学編入	岐阜女子大学 家政学部 健康栄養学科	4 名
	仁愛大学 人間生活学部 健康栄養学科	1 名
	金沢学院大学 人間健康学部 健康栄養学科	1 名

(2)課題

- 1) 学生は直営の給食施設、中でも保育所や学校給食等の土日祭日が休みで、日中の勤務時間への就職を求めるものが多い。一般職への就職が例年に比べて多く、委託給食会社の求人に対して応募者が少ない傾向であった。今後、求人に対しての説明会の設定を含め積極的に就職活動を行うための指導が求められる。

- 2) 学科で実施している委託給食会社ガイダンスを4社に依頼し、卒業生の話も含めて業務内容を聞くことができた。身近な方から聞く話は、自分のこととして考えるためには必要な内容であるため、給食会社側に今後も継続していただくように伝えていく必要がある。また、時間をうまく活用できれば、全体説明の後に各社ブースを設けての説明会を設定することで、各社での企業説明会に兼ねて実施することも可能であるとする。
- 3) 就職支援指導に対し、就職に意欲的な学生がいる反面、連絡も十分にとることができない学生がいる。ホームルームやビジネススキル演習等で「報連相」の徹底を伝えるが、反応の少ない学生に対しては対応が難しい。担任の先生方を中心に働く意欲や進路が不鮮明な学生など個々の適正に配慮して進路指導を行い、就職支援センターの助けを借りて内定に漕ぎつけた学生もいた。進路に迷っている学生の中で、一般職を視野に入れている場合は、就職支援センターとの連携が必要となるため意思疎通を細かく取ることが必要である。
- 4) 進学希望者に対する個別指導は、できるだけ1年次の早い時期からはじめることが望ましい。
- 5) 本学専攻科への進学予定者は、実務経験後入学するよう勧めている。実務させていただくことの重要性と、1年間育てるための努力をしてくださる施設や企業の方々への感謝の気持ちを持つことを学生に伝えている。今年は希望者8名が内定をいただいた。
- 6) 地域に根差した本学は、企業や施設との連携が欠かせないことを学生に十分に周知する必要がある。また、就職に対して意欲的に取り組むことができない学生に対して早期から保護者等との連携が必要である。

就職内定状況

(%)

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	72.7	87.0	92.2	96.1	97.3	100.0
平成29年度	50.6	77.2	83.8	87.5	97.5	100.0
平成28年度	45.7	66.3	76.8	85.4	96.8	98.9

3. 卒業時アンケート

(1)実績

実施日：平成31年2月

実施人数：学科2年生84名（回収82名 回収率97.6%）

結果概要：「入学してよかったか」という質問に対しては、9割の学生が「そう思う」または「どちらと言えぱそう思う」と答えた。「そう思わない」と答えた学生は、0名であった。専門的知識、給食管理能力および栄養指導能力等について、どれくらい身に付いたと思うか質問したところ、多くの学生が「そう思う」あるいは「どちらかと言えぱそう思う」と答えた。仕事につくにあたり不安に思っていることについて聞いたところ、献立作成や人間関係を選んだ学生が多かった。

(2)課題

アンケートの依頼も多く、学生への負担が懸念される。せっきやく集めたデータであるため、

教員は真摯に受け止め PDCA を行っていくことが必要である。教育懇談会やアンケートの結果を踏まえて、少しでも学生にとって充実した 2 年間となるよう改善していかなければならない。

Ⅲ. 地域貢献

1. 研究・社会的活動・所属関連団体研修

(1) 研究

論文・執筆等

田淵英一

【論文】

- ① Takeuchi, H., Futatsuya, C., Miki, A., Tabuchi, E., Sugano, M. : Supplementation with trans fatty acid at 1% energy did not increase serum cholesterol irrespective of the obesity-related genotypes in healthy adult Japanese. *Asian Pacific Journal of Clinical Nutrition*, 27(4), 797-803 (2018)

【執筆】

- ① 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.4, VITA, 112 号別冊, p.1-8 (2018), 富山県いきいき長寿センター（富山県社会福祉協議会），富山
- ② 田淵英一（監修）：脳トレクイズに挑戦！, porta, 第 29 号, p.14 (2018), 一般財団法人長寿社会開発センター，東京
- ③ 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.5, VITA, 113 号別冊, p.1-8 (2018), 富山県いきいき長寿センター（富山県社会福祉協議会），富山
- ④ 田淵英一（監修）：脳トレクイズに挑戦！, porta, 第 30 号, p.14 (2018), 一般財団法人長寿社会開発センター，東京
- ⑤ 田淵英一（監修）：脳トレクイズに挑戦！, porta, 第 31 号, p.14 (2018), 一般財団法人長寿社会開発センター，東京
- ⑥ 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.6, VITA, 114 号別冊, p.1-8 (2018), 富山県いきいき長寿センター（富山県社会福祉協議会），富山
- ⑦ 田淵英一（監修）：脳トレーニング問題集 vol.7, VITA, 115 号別冊, p.1-8 (2018), 富山県いきいき長寿センター（富山県社会福祉協議会），富山
- ⑧ 田淵英一（監修）：脳トレクイズに挑戦！, porta, 第 32 号, p.14 (2018), 一般財団法人長寿社会開発センター，東京
- ⑨ 田淵英一：特集 脳トレであたまスッキリ！, 北日本新聞 みらーれ, 5月号, No.239, p2 (2018), 富山

竹内弘幸

【論文】

- ① Takeuchi, H., Futatsuya, C., Miki, A., Tabuchi, E., and Sugano, M. : Supplementation with trans fatty acid at 1% energy did not increase serum cholesterol irrespective of the obesity-related genotypes in healthy adult Japanese, *Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition*, 27, 797-803 (2018). 共著

深井康子

【執筆】

- ① 『伝え継ぐ日本の家庭料理 魚のおかず—いわし・さばなど—』：別冊うかたま, ぶり大根 p. 36, 昆布じめ p. 50, ほたるいかの酢味噌和え p. 94, 白えびのかき揚げ p. 107, 農文協 (H30. 9)
- ② 『伝え継ぐ日本の家庭料理 野菜のおかず—秋から冬—』：別冊うかたま, お酢わい p. 20, かぶらごき p. 21, よごし p. 53, 農文協 (H30. 12)
- ③ とやま幸の食卓「家庭で作れるかぶら寿司 簡単レシピ」：北日本新聞, アルビス (H30. 12)
- ④ 『伝え継ぐ日本の家庭料理 炊き込みご飯 おにぎり』：別冊うかたま, とろろ昆布おにぎり p. 96, 農文協 (H31. 3)

【新聞・その他】

- ① 県民は野菜嫌い？難しい1日 350g 厚労省提唱の健康づくり指標：北日本新聞, p. 14 (H30. 9. 22)
- ② とやま幸の食卓①「富山の恵みの一汁三菜で、家族の体と心に栄養を」：北日本新聞, pp. 16-17 (H30. 11. 1)
- ③ とやま幸の食卓②「温かな汁物は寒い日の幸せです」：北日本新聞, (H30. 12. 1)
- ④ とやま幸の食卓③「食卓にもう一品 カンタンおいしい郷土料理」：北日本新聞, (H31. 1. 6)
- ⑤ とやま幸の食卓④「郷土料理を楽しくアレンジ。伝統を生かす絶品おかず。」：北日本新聞, p. 24 (H31. 2. 16)
- ⑥ とやま幸の食卓⑤「食卓の幸せを広げる、富山の恵みの一汁三菜」：北日本新聞, pp. (H31. 3. 17)

稗苗智恵子

- ① 地域住民を対象とした健康寿命延伸のための乳和食等による減塩食の栄養指導の検討 単著 富山短期大学紀要第 55 巻 P.141-145 (H31.3)

【新聞・その他】

- ① 生理痛と食事：北日本新聞 (H31. 3. 29)

樋口康彦

【論文】

- ① 樋口康彦：マスコミ、学校、家庭が個人の食行動に与える影響，富山短期大学紀要(富山短期大学)，第 55 巻，Pp.32～46(2019 年 3 月) 単著
- ② 樋口康彦：短大生の食行動に影響を与える要因に関する研究，富山短期大学紀要(富山短期大学)，第 55 巻，Pp.47～60(2019 年 3 月) 単著

山岸博美

【論文】

- ① 「短期大学生・専攻科学生の献立作成に関する調査報告」, 富山短期大学研究紀要第 55 号, 2019 年 3 月, pp134～140

大森聡

【論文】

- ① Okamura, Y. Omori, A. Asada, N. Ono, A. : Effects of vitamin C and E on toxic action of alcohol on partial hepatectomy-induced liver regeneration in rats, *J. Clin. Biochem. Nutr.*, 63, 50-57 (2018) 共著

角田香澄

【論文】

- ① Matsumoto, . Tsunda, K., et al. : Species identification of the raw materials of processed eel foods sold in Kagoshima Prefecture from 2013-2017 using polymerase chain reaction restriction fragment length polymorphism. 鹿児島純心女子大学看護栄養学部 紀要 Vol.22, (2018) 共著

藤田恭輔

【論文】

- ① Fujii, T., Shimizu, T., Yamamoto, S., Funayama, K., Fujita, K., Tabuchi, Y., Sakai, H. : Crosstalk between Na⁺, K⁺-ATPase and a volume-regulated anion channel in membrane microdomains of human cancer cells, *Biochim. Biophys. Acta - Mol. Basis Dis.*, 1864, 3792-3804 (2018) 共著
- ② Watanabe, S., Fujita, K., Nishida, T., Imura, J. : Ameliorative effect of animal bile preparations on dextran sulfate sodium-induced colitis in mice, *Tradit. Kampo Med.*, 5, 67-74 (2018) 共著

所属学会・研究発表等

田淵英一

【所属学会】

日本生理学会、日本味と匂学会、日本栄養改善学会、日本情動学会、国際脳研究機構

研究発表】

- ① 栄養・作業・運動療法により認知症状が維持・改善した高齢認知症症例. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p269 (2018.9)
- ② 栄養・作業・運動療法により認知症状が改善しなかった高齢認知症症例. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p269 (2018.9)
- ③ 発芽玄米摂取によるアレルギー性鼻炎症状の改善. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p321 (2018.9)
- ④ 発芽玄米摂取によるアトピー性皮膚炎症状の改善. 第65回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p321 (2018.9)
- ⑤ 一般成人女性における糖代謝マーカー及び血圧に対するトランス脂肪酸1.5%エネルギー

摂取の影響. 第 65 回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p271 (2018.9)

- ⑥ 脂質摂取と血中脂肪および糖代謝マーカーとの関係— β 3 アドレナリン受容体の遺伝子タイプ別解析—. 第 65 回日本栄養改善学会学術総会, 新潟, p271 (2018.9)

竹内弘幸

【所属学会】

日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本油化学会、日本肥満学会、日本臨床栄養学会

【研究発表】

- ① 一般成人女性における糖代謝マーカー及び血圧に対するトランス脂肪酸 1.5%エネルギー摂取の影響、第 65 回日本栄養改善学会学術総会、9 月、新潟、p271 (2018)
- ② 脂質摂取と血中脂質および糖代謝マーカーとの関係 — β 3 アドレナリン受容体遺伝子のタイプ別解析 —、第 65 回日本栄養改善学会学術総会、9 月、新潟、p271 (2018)

深井康子

【所属学会】

日本咀嚼学会 (評議員)、日本伝統食品研究会 (理事)、日本家政学会、日本家政学会食文化研究部会、日本調理科学会、高分子学会、日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ⑦ 岩口杏奈, 下川真梨, 深井康子: 米ペースト/南瓜混合パンケーキの調理特性, 日本調理科学会東海・北陸支部第 14 回研究発表会, 名古屋, 研究発表プログラム p.7 (H30.7)
- ⑧ 下川真梨, 岩口杏奈, 深井康子: 米ペースト焼き菓子の性状に及ぼす南瓜添加の影響, 日本調理科学会東海・北陸支部第 14 回研究発表会, 名古屋, 研究発表プログラム p.6 (H30.7)
- ⑨ 深井康子, 守田律子, 原田澄子, 稗苗智恵子, 中根一恵: 富山県の家庭料理 主菜の特徴—四季を通じて豊富な魚料理—, 日本調理科学会平成 30 年度大会, 兵庫, 研究発表要旨集 p. 93 (H30.8)

堀田裕史

【所属学会】

情報処理学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本経営工学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 山口理紗、堀田裕史: 長野県と富山県にみる病気別死亡原因の特徴、及び食物・生活環境等との関連の検討, 第 14 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会講演要旨集, P20 (H31.2)

稗苗智恵子

【所属学会】

日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本静脈経腸栄養学会、日本病態栄養学会、日本健康・栄養システム学会、日本調理科学会、日本栄養士会

【研究発表】

- ① 第 65 回日本栄養改善学会学術総会: 地域における高齢者の栄養状態の把握 共著 新潟 P.252 (H30.9)

- ② 第 65 回日本栄養改善学会学術総会：高齢者を対象とした乳和食の開発と普及活動 共著
新潟 P.306 (H30.9)
- ③ 深井康子, 守田律子, 原田澄子, 稗苗智恵子, 中根一恵：富山県の家庭料理 主菜特徴：四季を通じて豊富な魚料理, 日本調理科学会平成 30 年度大会, 兵庫, 研究発表要旨集 P.93(H30.8)

樋口康彦

【所属学会】

日本応用心理学会、日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 第 65 回日本栄養改善学会学術総会：短大生の昼食に影響を与える要因, P301 共著 新潟県 (H30.9)

山岸博美

【所属学会】

日本食育学会、日本栄養改善学会、日本栄養士会

【研究発表】

- ① 短期大学生における食生活縦断調査に関する研究, 第 2 回栄養教諭食育研究会. 岐阜, P63(2018.8)
- ② 山岸博美, 沢田朱音, 堀まどか, 角田香澄, 専攻科生による子ども食堂への食育活動について, 第 14 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会講演要旨集, P. 18 (2019.2)

高木尚紘

【所属学会】

日本健康教育学会、日本栄養改善学会、日本スポーツ栄養学会、日本栄養士会

【研究発表】

- ① 高木尚紘, 首尾一貫感覚の高さが健康行動に与える影響, 第 27 回日本健康教育学会学術大会講演集, p. 82 (H30, 7)
- ② 加田大知, 高木尚紘, SOC は健康行動と関連するか, 27 回日本健康教育学会学術大会講演集, p. 78 (H30, 7)

大森聡

【所属学会】

日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本病態栄養学会

【研究発表】

- ① 大森聡, 常本麻土香, 岡村友理香, 浅田憲彦, 小野章史：白飯におけるとろみ調整食品の添加が食後血糖上昇におよぼす影響, 第 65 回日本栄養改善学会学術総会, 9 月, 新潟, 第 65 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集 P. 141 (2018)
- ② 常本麻土香, 岡村友理香, 大森聡：とろみ調整食品の添加およびゲル化剤の添加が食後血糖上昇に与える影響, 第 22 回日本病態栄養学会年次学術集会, 1 月, 横浜, 第 22 回日本

角田香澄

【所属学会】

日本食品衛生学会、日本公衆衛生学会、日本ミトコンドリア学会、日本マイコトキシン学会
日本栄養改善学会

【研究発表】

- ① 山岸博美, 沢田朱音, 堀まどか, 角田香澄: 専攻科生による子ども食堂への食育活動について, 第 14 回日本栄養改善学会北陸支部学術総会講演要旨集, P. 18 (2019. 2)

中根一恵

【所属学会】

日本家政学会、日本家政学会食文化研究部会、日本調理科学会、日本栄養改善学会、日本スポーツ栄養学会

【研究発表】

- ① 中根一恵, 南基泰, 洲崎孝雄, 森瀬一幸, 小川宣子: 栄養・おいしさの視点から調査した本膳料理 2-現代の食生活への提案-, 日本調理科学会第平成 30 年度大会, 兵庫, 研究発表要旨集 p 84, 2P-56, (2018 年 8 月 30 日・31 日)
- ② 深井康子, 守田律子, 原田澄子, 稗苗智恵子, 中根一恵: 富山県の家庭料理 主菜特徴: 四季を通じて豊富な魚料理, 日本調理科学会平成 30 年度大会, 兵庫, 研究発表要旨集 p 93 (2018 年 8 月 30 日・31 日)

藤田恭輔

【所属学会】

日本薬学会、日本生化学会、日本栄養改善学会、和漢医薬学会

【研究発表】

- ① 藤田恭輔, コール酸誘発性肝傷害および肝脂質代謝に対する防己黄耆湯の効果, 第 35 回和漢医薬学会学術大会 (岐阜 9 月 1 日) 要旨集 50 (2018)
- ② 藤田恭輔, 濱田和花, 茶谷大輝, 渡辺志朗, がん悪液質モデルマウスに対するエゴマ葉の効果, 日本薬学会 第 139 年会 (千葉 3 月 21 日) 要旨集 (2019)

【受賞】

- ① 和漢医薬学会奨励賞 (2018)

研究助成の申請 (採択分)

田淵英一

- ① 富山第一銀行奨学財団研究助成: 地域住民の脳トレーニング普及推進による認知症予防対策, 代表, H30. 7~31. 3, 75 万円
- ② 五洲薬品 (株) 共同研究経費: 経口補水液の軽度・中等度脱水症状患者への食事療法としての有効性の検討. 分担, H30. 7~31. 3, 20 万円

- ③ 科学研究費助成：基盤研究 (C) テーラーメイド脂質栄養学の確立を目指した遺伝子多型と脂質摂取との相互作用の解の解明，分担研究，H28.4～31.3，45万円

竹内弘幸

- ① 平成28年度科学研究費助成授業基盤研究 (C)，テーラーメイド脂質栄養学の確立を目指した遺伝子多型と脂質摂取との相互作用の解明，代表者，期間；平成28.4～31.3，金額；360万円。

稗苗智恵子

- ① 富山第一銀行奨学財団研究助成：地域住民を対象とした健康寿命延伸のための乳和食等による減塩食の栄養指導の検討 H30.7～31.3，25万円

高木尚紘

- ① 平成30年度学長裁量経費：身体活動量は首尾一貫感覚と関連する。期間 H30.4～H31.3 研究経費 16万円

大森聡

- ① 平成30年度学長裁量経費：在学生および卒業生に対する管理栄養士国家試験学習サポート（継続），期間 H30.4～H31.3，金額 14万円
② 平成30年度学長裁量経費：衛生状態の「数値化」「見える化」による衛生管理教育効果の検討，期間 H30.4～H31.3，金額 18万円
③ 平成30年度公益財団法人富山県ひとづくり財団高等教育振興事業助成金：とろみ調整食品の添加および食形態の違いが食後血糖上昇へ与える影響，期間 H30.4～H31.3，金額 50万円

角田香澄

- ① 富山短期大学・学長裁量研究費：元気、とやまっこを育てよう 2018，代表，H30.4～31.3，11万円
② 富山県厚生部子ども支援課「子どもほっとサロン事業」，代表，H30.4～H31.3，30万円

中根一恵

- ① 平成30年度富山短期大学・学長裁量経費：短大における縦割りを活かした教育方法～包丁技術向上を目指して～，代表者：中根一恵，共同研究者：深井康子，期間：H30.4～H31.3，研究経費：110千円

藤田恭輔

- ① 科学研究費助成：若手研究 (B) 機能性トリテルペンのがん悪液質性筋萎縮に対する改善効果の検証，代表，H29.4～32.3，310万円
② 富山短期大学・学長裁量研究費：がん悪液質モデルマウスに対するエゴマ葉の効果の検証，代表，H30.4～31.3，25万円

(2) 社会的活動

講演・講義等

田淵英一

【講演】

- ① おもしろ脳トレーニング. 高岡市古府公民館講演会, 2018.2.20. 高岡
- ② 平成 29 年度脳トレ研修会. 脳トレ立山・立山町社会福祉協議会, 2018.2.27. 立山町
- ③ ボケないための脳トレーニングと脳の話. 開館 35 周年記念金岡邸活性化事業金岡邸「健康講演会」, 2018.3.4. 富山
- ④ 脳のしくみ と 頭を柔らかくする脳トレーニング. 北陸銀行健康保険組合げんき一ふ 21 セミナー, 2018.2.24. 富山
- ⑤ 認知症予防のための脳トレーニング. 北日本新聞とやま健康・福祉・介護フェア 2018, 2018.3.18. 富山
- ⑥ 効率のよい記憶のトレーニング方法、脳のしくみ、脳トレーニング. 健康講座研修会, 小矢部大谷校下地区社協連絡会, 2018.6.30. 小矢部
- ⑦ 認知症予防のための脳トレーニング. ふるさと探究講座「健やかにくらす」, 県民カレッジ高岡, 2018.7.28. 高岡
- ⑧ 楽しく脳を鍛えましょう！！. 小矢部心を考える会研修会, 砺波厚生センター小矢部支所, 2018.7.4. 小矢部
- ⑨ アウトメディアで脳（能）力アップ！. 大沢野中学校, 2018.10.20. 富山
- ⑩ 脳の機能と脳トレで元気いきいき. 健康教育事業, 大山保健福祉センター, 2018.11.14. 富山
- ⑪ 健康寿命を延ばす頭と体の運動の効能. 年リンピック富山リーダー研修会健康寿命をのばす地域リーダー養成講座, 富山県社会福祉協議会, 2019.1.9. 富山
- ⑫ 認知症予防のための食事法と脳トレーニング. 富山市食生活改善推進連絡協議会研修会, 2019.1.16. 富山
- ⑬ 認知症予防と脳トレーニング. 大沢野北親会講演会, 北陸銀行, 2019.2.15. 富山
- ⑭ 地域ふれあいサロンにおける脳トレの効果と役割. 地域ふれあいサロン世話人研修会, (社福) 射水市社会福祉協議会, 2019.3.14. 射水
- ⑮ とれたてワイド朝生「教えて！ティーチャー！」 2018. 7. 25, KNB ラジオ

【講義】

- ① 富山市民大学講座：楽しい脳トレーニング 年 10 回 (H30. 5～10)
- ② 富山いきいき長寿大学専門的実践講座：いきいき脳トレリーダー養成講座 年 6 回 (H30. 10～H31. 2)
- ③ 富山国際大学こども育成学部：精神保健 年 6 回 (H30. 4～7)
- ④ 富山国際大学こども育成学部：医学一般 年 15 回 (H30. 10～H31. 2)
- ⑤ 脳トレクラブ交流会 年1回 (H31. 3)
- ⑥ 高岡市福岡町社会福祉協議会 「脳トレリーダー養成講座」(2回/6回). 2018年, 高岡.
- ⑦ となみ野脳トレクラブ「脳トレリーダー養成講座」(計2回/6回). 2018年, 砺波.

- ⑧ 富山短期大学出張講義：龍谷富山高校 管理栄養士・栄養士とは＋食育脳トレ. 2018. 3. 9. 富山.
- ⑨ 富山短期大学出張講義：水橋高校 管理栄養士・栄養士とは＋食育脳トレ. 2018. 12. 5. 富山.

竹内弘幸

【講演】

- ① 食生活改善推進連絡協議会リーダー研修会、「生活習慣病にならないために」、富山市保健所（富山市）、5月31日（2018）.
- ② 第66回日本海水産物利用担当者会議特別講演、「ホタルイカの機能性に関する研究」、富山県民共生センターサンフォルテ（富山市）、7月5日（2018）.
- ③ 平成30年度富山第一銀行奨学財団研究助成セミナー、「富山湾産のホタルイカの価値向上に関する研究」、キラリホール（富山市）、7月6日（2018）.
- ④ 富山県民生涯教育カレッジ富山地区教養講座、「油の栄養-話題の健康オイルと腸内環境-」、県民カレッジ富山地区センター（富山市）、8月3日（2018）.
- ⑤ 富山県鍼灸マッサージ師会第9回県民公開講座、「現代を生きるための栄養学 進化栄養学と発酵食品について」、富山県総合福祉会館サンシップとやま（富山市）、9月30日（2018）.
- ⑥ 平成30年度高岡市生涯学習センター連携講座、「発酵食品の健康パワー!」、高岡市生涯学習センター（高岡市）、2月19日（2019）.

深井康子

【講演】

- ① 平成30年度南砺市市民大学講座「人と自然・文化」：次世代に伝えたい 富山の食文化, 福光福祉会館(H30. 7. 3)
- ② 高岡市学校給食のつどい：子どもの意欲を育てる”人と共に食べること”, 高岡文化会館（H30. 8. 6）
- ③ 平成30年度給食施設関係職員研修会：食事をおいしくする減塩の工夫, 砺波まなび交流館（H30. 8. 22）
- ④ 平成30年度食生活改善推進連絡協議会リーダー研修会：健康づくり保健栄養教室「栄養・調理の基礎知識」, 富山市保健所(H30. 9. 14)
- ⑤ 平成30年度特定給食施設等関係者研修会：和食を支えるだし文化 ～次世代に継ぐ日本の家庭料理～, 立山町元気交流ステーション（H30. 9. 14）
- ⑥ 富山市調理員研修会：スキムミルクの特性、スキムミルクを使用した調理実習, 富山南保健センター(H30. 12. 11)
- ⑦ 富山県消費者協会研修会：食材を丸ごと使い切ろう, 富山県共生センターサンフォルテ（H30. 12. 25）
- ⑧ 富山県食品産業協会：米粉を使った料理教室, 富山短期大学（H31. 2. 23）
- ⑨ 北日本新聞社・(株)アルビス：親子料理教室, 富山短期大学（H31. 3. 16）

【講義】

- ① 富山市民大学：「健康生活の知恵」コース 2回
 - 第1回 日本が誇れる和食文化 (H30.6)
 - 第2回 「富山の家庭料理」出版から見た健康生活の知恵 (H30.7)
- ② 富山短期大学幼児教育学科：子どもの食と栄養Ⅰ 前期15回 (H30.4～H30.8)
- ③ 富山市医師会看護専門学校：食生活と栄養8回 (H30.5～7)
- ④ 富山県立いずみ高等学校：特別授業「食と環境」
 - 第1回 災害時における食生活支援 (H30.11)
 - 第2回 次世代に伝えたい 富山の食文化 (H30.11)
 - 第3回 災害時の食事～調理実習～ (H31.2)
- ⑤ 富山国際大学子ども育成学部：生活文化演習1回 (H30.11)

稗苗智恵子

【講演】

- ① 富山県薬業連合会：～世代ごとの食事ポイント～ 生活習慣病と栄養について 富山市 (H30.4)
- ② 富山県新川厚生センター：バランスのとれた食事でがん予防 黒部市 (H30.7)
- ③ 富山市保健所：60歳代からの食生活 富山市(H30.7)
- ④ 富山県助産師会：妊娠期から授乳期における栄養について 富山市 (H30.9)
- ⑤ 富山市保健所八尾地域ぐるみ健康づくり交流会：個人・家庭・地域で挑戦！ 食で健康なカラダづくり 富山市 (H30.9)
- ⑥ 立山町健康づくりボランティア：食事と健康寿命のお話し 中新川郡立山町 (H30.11)
- ⑦ 政岡内科病院：褥瘡と栄養の関係 富山市 (H30.11)

【講義】

- ① 氷見高等学校 専門技術者等招聘講座：栄養士・栄養教諭の仕事とは 最近の青年期の食に関する話題と食育について 氷見市 (H30.11)
- ② 富山県立総合衛生学院看護学科：栄養学 富山市 (H30.5)
- ③ 富山県立総合衛生学院助産科：母子の栄養 富山市 (H30.6)

樋口康彦

【講義】

- ① 富山短期大学幼児教育学科：教育心理学 (H30.4～8)
- ② 富山短期大学福祉学科：生活と社会 (H30.4～8)
- ③ 富山短期大学福祉学科：心理一般 (H30.9～H30.2)

山岸博美

【講演】

- ① 平成30年度第1回富山県子どもほっとサロンネットワーク交流会における献立検討講師 (富山県厚生部：H30.5)
- ② 富山県高等学校定時制学校給食研究協議会講演 (富山県：H30.6)
- ③ 健康づくり保健栄養教室講師 (富山市保健所：H30.6)

- ④ 子育て家族応援講座（料理講師）（氷見市社会福祉協議会：H30.7）
- ⑤ 親子クッキング（南砺市保育士会：H30.7～8（2回開催））
- ⑥ 悠久の森 2018 森につどおう：栄養相談（悠久の森実行委員会：H30.8）
- ⑦ 若者世代におけるこれからの食育（砺波市立出町中学校 PTA 主催講演会：H30.11）
- ⑧ とやま農業未来カレッジと富山短期大学との調理体験交流会（調理講師）（とやま農業未来カレッジ：H30.11）
- ⑨ 保育所等における食事の提供ガイドライン（富山市認定こども園協議会：H30.12）

高木尚紘

【講演】

- ① 富山県栄養士会生涯教育基本研修：「献立計画～実施献立」（H. 30. 9）

大森聡

【講演】

- ① 富山県民生涯学習カレッジ新川地区センター 健康長寿～地域で健康に暮らす～（H. 30. 4）
- ② 滑川市福寿大学 栄養を正しく理解する（H. 30. 6）
- ③ 富山県栄養士会生涯教育 基本研修 対象者の把握食品構成（演習）（H. 30. 8）
- ④ 高岡市西条地区避難所運営実地訓練 食料物資班訓練 栄養・食事について（H. 30. 11）

【講義】

- ① 富山歯科総合学院：栄養指導（H30. 6～7）
- ② 栄養士ってどんな仕事？ 出張授業滑川高校（H30. 7）

角田香澄

【講演】

- ① 富山県栄養士会生涯教育基本研修：「衛生管理・感染対策」（H. 30. 9）
- ② 上市町立上市中央小学校：学校保健委員会 講師（H30. 11）

藤田恭輔

【講演】

- ① H30 年度 健康づくり保健栄養教室：「生活習慣とがん」（H30. 8）

行政および関係者等への審議会・研究会委員等

田淵英一

- ① 日本生理学会評議員
- ② 日本情動学会評議員
- ③ 富山大学医学部同窓会会長（理事）、会報編集委員
- ④ 富山大学同窓会連合会副会長（幹事）
- ⑤ 富山大学杉谷（医薬系）キャンパス国際交流助成会理事
- ⑥ 富山県立総合衛生学院助産学科入試問題作成委員

- ⑦ 富山国際大学倫理委員会委員
- ⑧ 医療法人社団功連会中川病院（精神神経科・内科）非常勤医師
- ⑨ 社会福祉法人あゆみの郷（重度心身障害施設）非常勤医師
- ⑩ 萩野病院（内科）非常勤医師
- ⑪ 富山国際大学附属高等学校 学校医
- ⑫ 富山やくぜん認定委員会委員長
- ⑬ ねんりんピック富山 2018 厚生労働省行政情報発信コーナー 脳トレ体験コーナー監修,
2018.11.3-5.
- ⑭ 私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会大会長
- ⑮ 第14回日本栄養改善学会北陸支部総会実行委員

竹内弘幸

- ① 日本栄養改善学会（評議員，第66回学術総会会長、北陸支部幹事）
- ② 日本栄養・食糧学会（代議員）
- ③ 日本油化学会
- ④ 富山県衛生研究所外部評価委員

深井康子

- ① 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 評議員
- ② 日本調理科学会 家庭料理特別研究 富山県編集責任者
- ③ 日本調理科学会東海北陸支部役員・富山県連絡委員
- ④ 日本伝統食品研究会 理事
- ⑤ 富山県消費者協会 副会長
- ⑥ 富山県食育推進会議委員
- ⑦ 富山県環境審議会委員
- ⑧ 富山県大規模小売店舗立地審議会委員
- ⑨ 食のとやまブランドマーケティング戦略検討委員会委員
- ⑩ 富山県生涯学習審議会委員
- ⑪ 富山県卸売市場審議会委員
- ⑫ 富山県産米粉用米需要拡大推進会議委員・議長
- ⑬ 富山県食肉惣菜コンテスト審査委員
- ⑭ 富山県民生涯学習カレッジ高岡地区センター運営会議委員・会長
- ⑮ 富山市市民学習センター運営協議会委員
- ⑯ 高岡市食育推進会議委員・議長
- ⑰ 砺波市食育会議推進委員・議長
- ⑱ 富山市市民学習センター運営協議会委員
- ⑲ ALL 富山 COC+（プラス）教育プログラム開発委員会委員（H30.4～）
- ⑳ 大学コンソーシアム富山教育連携部会委員（H30.4～）
- ㉑ 富山県ジビエ研究会委員（H30.4～）

稗苗智恵子

- ① とやま在宅協議会委員 (H26.7～)
- ② 「富山市健康プラン 21」推進委員会委員 (H28.2～)
- ③ 魚津市食育推進委員会委員 (H28.3～)
- ④ 富山県公衆栄養研究会相談役
- ⑤ (公社) 富山県薬剤師会倫理審査委員会委員
- ⑥ 第 66 回日本栄養改善学会学術総会実行委員会

山岸博美

- ① 高岡厚生センター管内食育推進連絡会委員 (H24～)
- ② 富山県保育士会南砺市委託研究講師 (H27～)
- ③ 氷見市学校給食センター整備検討委員 (H28～)

高木尚紘

- ① 富山県栄養士会 研究教育事業部理事

大森聡

- ① 川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科臨床栄養学専攻 研究生
- ② 富山県栄養士会 広報部副部長 (H. 29～)
- ③ 富山県栄養士会 研究教育事業部理事 (H. 29～)

藤田恭輔

- ① 「富山やくぜん」認定委員

2. 管理栄養士国家試験準備講習会

(1)実績

- ①開催は、平成 30 年 10 月 13 日の土曜日のみで、特別講師による授業のみ実施した。
- ③全国統一模擬試験を 2 回実施した。
- ④専攻科 2 年生には、全国統一模擬試験を 2 回とも全員に受験させ、1 年生には 1 回以上を受験するよう指導し、今後に向けて努力するよう促した。

(2)課題

- ①第 32 回試験より、試験制度が変更するため、在学中の受験が不可能となり、それに対応した試験対策の充実が求められる。
- ② 募集定員 10 名のところ、受講申込者が定員に満たなかった。今後も積極的な案内が必要だと思われる。

3. 公開特別講演会

(1)実績

食物栄養学科と専攻科の特別講演会を合併して開催している。講演会の演者は、栄養士・管理栄養士に必要とされる専門的な内容を様々な視点からの講演内容となった。

公開特別講演会 平成 30 年 9 月 29 日（土）13：10～16：30 富山短期大学

演題	講師名	参加者
食べて治す食物アレルギー ―栄養士さん に知ってほしい新しい考え方―	伊藤 靖典 先生 富山大学医学部小児科 助教	学科 146 専攻科 28 教職員 16 一般県民 10 報道関係 0
	本多 京子 先生 医学博士・管理栄養士	合計 200 名
食物アレルギー 食育の視点から		

(2)課題

公開講座ということで、本学の学生のみならず、県栄養士会員や地域住民等一般からの参加を増員するため、地域連携センターと連携を図りながら行っていく。また、最新の栄養学等の情報を発信していく担い手としての大学の役割を地域等に PR していく。

4. 公開講座

(1)実績

食物栄養学科教員が担当した公開講座の実施日時や受講者数は、以下の表の通りである。

平成 30 年度

講座名	実施日時	講師	講座内容	受講者数
滑川福寿大学	6月8日（金） 13:30～14:40	大森 聡 講師	栄養を正しく理解 する	69名
みどりの幼稚園	9月18日（火） 9:30～11:30	深井 康子 教授	家族で作って伝える、ほっこりおやつ	17名
富山短期大学	12月1日（土） 9:30～12:00	山岸 博美 講師	健康寿命を延ばす 食事	17名
ウィング・ウィン グ高岡	2月19日（火） 14:00～15:10	竹内 弘幸 教授	発酵食品の健康パ ワー！	33名
	3月5日（火） 14:00～15:10	稗苗 智恵子 教授	食事と健康寿命の お話	33名

(2)課題

昨年度より増して地域に密着し貢献していくことや、県内活動拠点の開発が必要と考えられる。

IV. 入学者確保

1. 学生募集・入学試験

(1)実績

31年度入学試験は、入学定員80名を厳守すべく入学者89名となった。入試区分ごとの入学定員、受験者、入学者は以下の表1の通りである。過去5年間の入学試験における募集定員および受験者を以下の表2に示した。受験者数は138名であった。昨年度同様に、推薦入試区分には指定校制、併設校制、公募制のうち公募制に併願を取り入れている。

また、自己推薦入試も導入し、センター試験利用型入試では、前期、後期、中期の計3回、特別入試は2回実施した。入試日および実施場所等については、以下の表3の通りである。

(2)課題

①推薦入試は57名の受験者があり順調に推移した。一般前期入試は昨年度(29名)よりも13名受験者数が増加した。しかし、中には受験者数が大幅に減少している高校もあるため今後の定員確保に向け対策を考える必要がある。また、一般前期入試とセンター利用型前期との重複受験が多かったため、今後どの区分での受験が高校生にとって受験しやすいのか、その時期について再度検討する必要がある。

②一般入試前期では昨年度、一昨年度は約70%の歩留りであり、今年度は約50%の歩留りであった。センター利用型入学者数の変動が大きく、歩留り予想が難しい。

表1 平成31年度および30年度入試の出願・受験・合格・入学状況

入試区分		募集人員		受験者		合格者		入学者	
		H31	H30	H31	H30	H31	H30	H31	H30
推薦入試	指定校制	48	48	57	57	57	55	57	55
	併設校制								
	公募制	専願	1	1	0	0	-	0	-
	併願								
自己推薦		1	1	0	1	-	1	-	1
一般入試	Ⅰ期		21		29		28		16
	Ⅱ期		1		1		1		1
一般入試	前期	20		42		38		19	
	後期	2		2		2		2	
大学入試センター試験 利用型入試	前期	4	4	32	25	30	24	9	4
	中期	1	1	2	0	2	0	0	0
	後期	1	1	2	1	2	1	1	1

特別入試 (社・学等)	A 日程	1	1	1	1	1	1	1	1
	B 日程	1	1	0	0	-	0	-	0
総計		80	80	138	114	132	110	89	79

表 2 平成 27 年～31 年度入試の受験者数推移

入試区分		H31	H30	H29	H28	H27
推薦入試		57	55	49	77	63
自己推薦		0	1	1	7	8
一般入試	I 期		29	47	47	48
	II 期		1	1	5	10
一般入試	前期	42				
	後期	2				
大学入試セ ンター試験 利用型入試	前期	32	25	30	27	43
	中期	2	0	1	3	9
	後期	2	1	1	1	5
特別入試 (社・学等)	A 日程	1	1	2	1	4
	B 日程	0	0	0	1	3
総計		138	114	132	169	193

表 3 平成 31 年度入試の選考日および選考方法

入試区分		選考日	選考方法
推薦入試		平成 30 年 11 月 17 日(土)	書類審査、小論文、面接
自己推薦		平成 30 年 12 月 8 日(土)	書類審査、面接
一般入試 前期		平成 31 年 2 月 2 日(土)	書類審査、筆記試験 2 科目 (指定: 国語 選択: 英語、数学 I、生物基礎)
一般入試 後期		平成 31 年 3 月 13 日(水)	書類審査、小論文、面接
大学入試 センター試験 利用型入試	前期 中期 後期	—	書類審査、センター試験 2 科目 (国語、数学 (数 I、数 II、数 A)、 理科 (物、化、生、地学)、外国語 (英))
特別入試 (社・学等)	A 日程	平成 30 年 11 月 17 日(土)	書類審査、面接
	B 日程	平成 30 年 12 月 8 日(土)	

2. 入試広報

(1) 実績

①進学相談会、出張授業、本校訪問対応等

オープンキャンパス、高校関係者の本学訪問時の学科紹介兼ガイド、進学相談会、高校での校内説明会、高校での模擬授業等を実施した。以下に詳細を記載する。

進学相談会

	月日	曜日	場所	担当教員
1	6月5日	火	オークスカナルパーク ホテル富山	竹内

高校関係者本学訪問

	月日	曜日	対象	担当教員
1	6月27日	水	富山商業高校 PTA	山岸
2	6月29日	金	高校教員対象入試説明会	竹内・田淵・稗苗・ 深井・中根
3	7月6日	金	小杉高校	竹内
4	7月9日	月	富山いずみ高校	竹内
5	7月10日	火	富山西高校	中根
6	7月23日	月	付属高校	高木・山岸・竹内 樋口・深井
7	7月24日	火	付属高校	稗苗・堀田・田淵 角田・中根
8	10月9日	火	八尾高校 PTA	深井
9	10月12日	金	泊高校 P T A	稗苗
10	12月10日	月	富山北部高校	竹内
11	3月26日	火	さんぽうバスツアー	稗苗

高校での進路ガイダンス

	月日	曜日	高校名	担当教員
1	4月17日	火	氷見高校	山岸
2	4月27日	金	入善高校	山岸
3	6月13日	水	新湊高校	稗苗
4	6月13日	水	高岡龍谷高校	竹内
5	7月6日	金	龍谷富山高校	高木
6	7月10日	火	高岡第一高校	稗苗
7	7月12日	木	富山西高校	中根
8	7月17日	火	雄山高校	大森
9	9月5日	水	小杉高校	山岸
10	9月19日	水	水橋高校	竹内
11	11月13日	火	上市高校	中根
12	11月14日	水	桜井高校	深井
13	12月5日	水	高岡龍谷高校	山岸

14	12月6日	木	高岡商業高校	稗苗
15	12月12日	水	雄山高校	中根
16	1月22日	火	上市高校	中根
17	1月23日	水	上市高校	稗苗
18	2月18日	月	志貴野高校	稗苗
19	3月8日	金	龍谷富山高校	大森
20	3月19日	火	南砺福光高校	中根

高校での模擬授業

	月日	曜日	会場	担当教員
1	7月2日	月	滑川高校	大森
2	9月18日	火	雄峰高校	中根
3	12月5日	水	水橋高校	田淵
4	12月17日	月	富山いずみ高校	稗苗
5	3月8日	金	龍谷富山高校	大森
6	3月13日	水	雄山高校	大森
7	3月19日	火	南砺福光高校	中根
8	3月20日	水	泊高校	藤田

③新聞報道

食物栄養学科、専攻科食物栄養専攻と関連した新聞報道の報道年月日、タイトルは、研究・社会的活動・所属関連団体研修の各個人の欄を参照のこと。

④その他

a)ホームページ

2018年度に本学ホームページは全面改定を行った。本学科・専攻科食物栄養専攻のホームページはそれに応じて変更を行った。

b)ブログ

食物栄養学科の新規ブログ記事は、4月1件、5月3件、6月3件、7月3件、8月2件、9月3件、10月5件、11月1件、12月10件、1月4件、2月3件、3月2件（平成31年3月31日現在）であった。

c)カレッジガイドの作成

本学志望者、教員、保護者向け資料として高校生や高校に配布しているカレッジガイドの2018年度版は全面改定となり、各教員が分担して、加筆・修正、写真撮影等を行った。

d)知っ得情報／コスモス通り(富山国際大学)

知っ得情報は、年度内発行の「推薦入試号」、「一般入試号」において、食物栄養学科の記事を作成した。コスモス通りにおいては、食物栄養学科の記事を掲載した。

(2)課題

平成 30 年度は、ブログ記事は各行事担当者が作成すること、また、教員で担当を決め、授業紹介を行うことにした。また、学科行事や授業紹介に加え、教員の活躍や学生の活躍に関することも記事にすることができた。今年度も前年度の方向を踏襲している。今年度は昨年度に比べてアップ数が増加した。しかし、アップ数はまだ十分とは言えず、今後はたとえ小さな行事であっても積極的に取り上げ、記事の本数を増やす必要がある。また本数の少ない月があり、今後の工夫が必要であると考えられる。

V. マネジメント体制

1. 自己点検

(1)実績

学科運営や教育の運営・連絡・点検ため、前期 18 回、後期 17 回の計 35 回の科内会議を開催した。また、アクションプランに基づき自己点検を行い、アクションプランの点検表を作成した。年度始めには、各教員が個人年間計画・評価票を作成し、その内容について学科長が点検した。年度末には、個人年間計画・評価票に基づき、学科長が第一次評価者として業務評価を行った。シラバスについては、学科長および教員委員が、記載事項について点検を行い、必要に応じて修正を依頼した。

教授会や各種委員会の欠席等や休暇については、事前に学科長や委員長等の承諾を得るよう伝えた結果、昨年度にくらべて定着してきた。

(2)課題

科内会議の効率化のため、これまで毎週行ってきたが、後期より隔週に変更した。会議の回数は減少したが、各回の議題が多くなり、十分な議論ができない場合もあった。

2. FD/SD活動

(1)実績

FD/SD活動に積極的に参加するように働きかけた結果、教員は全員 3 回以上研修会に参加した。学科内 FD/SD 活動については、計画的に実施する予定であったが、計画どおりに実施できなかった。

(2)課題

学科内 FD/SD 活動を継続的に行う方策について、検討をしていく必要がある。

3. 資源の有効利用

(1)実績

定年により昨年度末に教員 1 名が退職した。4 月より新たに後任の教員が採用されたため、学科内の業務分担について長期的な計画を含めて見直しを図った。

(2)課題

今後も定年により退職する予定の教員が控えているので、若手教員の早急な育成が必要である。

以上